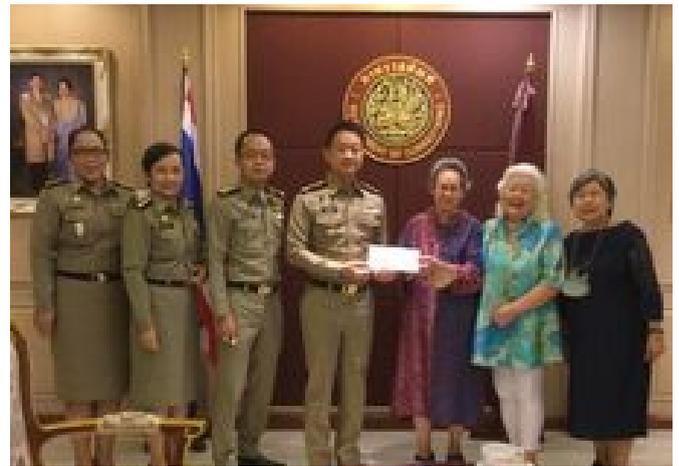


「タイ国際ボランティア財団」の経営に参画 タイでの政策提言や平和教育、若者支援への取り組みを実施することに 薬物関連受刑者を親にもつ子どもへ奨学金を11月7日に供与

認定NPO法人テラ・ルネッサンス（本部：京都府京都市、理事長：小川真吾、以下 テラ・ルネッサンス）は、タイで貧困層の若者の教育支援や文化交流などを目的とする「タイ国際ボランティア財団」の運営に参画することに。テラ・ルネッサンスとしてはタイで初めての拠点となります。11月7日には、タイ・法務省矯正局のピブーンソクラーム財団を通じて、薬物関連受刑者を親にもつ子どもたちへ奨学金の提供を行いました。



（画像左）タイ国際ボランティア財団理事会の様子、（画像右）ピブーンソクラーム財団へ奨学金を供与した様子

テラ・ルネッサンスは、「すべての生命が安心して生活できる社会（=世界平和）の実現」を目指し、世界9か国で活動しています。2001年の設立以来、アフリカやアジアで紛争被害者の自立支援を行い、また国内においては、平和の担い手を育むために延べ21万人に対して講演を通じて、平和の大切さや、平和な世界をつくるための方法を伝えてきました。

多くの国際機関が拠点を構え、ASEAN諸国の中核を担うタイ王国において、政策提言や平和の担い手を育む（平和教育・人財育成）ことを目的に、同国での活動展開を模索してきました。そんな折、同国で「タイ国際ボランティア財団」（以下、同財団）を運営する「認定NPO法人IV-JAPAN」（以下、IV-JAPAN）代表の富永幸子氏に、その目的に共感いただき、テラ・ルネッサンスが同財団の経営に参画することになりました。2022年8月10日の理事会にて、テラ・ルネッサンス職員4名が理事に就任。今後は、同財団を通じて、テラ・ルネッサンスの経験を活かし、国際機関等への政策提言や平和の担い手を育むための教育事業を展開する予定です。

同時に、同財団が旧来実施していたタイ国内での若者支援も継続します。まずはIV-JAPANと協働で、ピブーンソクラーム財団を通じて、薬物関連の受刑者を親にもつ子どもたちへ奨学金提供を11月7日（月）に行いました。この活動は、同財団創設者の富永幸子氏によって長年続けられてきた活動です。タイでは麻薬問題の解決が選挙政策に掲げられるほど、深刻な社会問題の一つとして考えられています。今後も同財団として、平和の担い手を育む一環として、貧困等の課題を抱えたタイ国内の若者への支援にも積極的に取り組んでいきます。

日本のNPOが海外において財団を設立し、さらに他の日本のNPOが経営参画する事例は珍しく、持続可能な開発目標（SDGs）ゴール17「パートナーシップ」を体現する事例として注目を集めています。

■ この件に関するお問い合わせ（取材）について

認定NPO法人テラ・ルネッサンス 吉田（よしだ）

電話：080-3934-9841

メール：m_yoshida@@@terra-r.jp（※正しくは@を2つ削除）

○ 認定NPO法人テラ・ルネッサンスについて



ひとり一人に未来をつくる力がある

認定NPO法人 テラ・ルネッサンス

『すべての生命が安心して生活できる社会の実現』を目的に、2001年に鬼丸昌也によって設立。現在では、カンボジア・ラオスでの地雷や不発弾処理支援、地雷埋設地域の生活再建支援、ウガンダ・コンゴ・ブルンジでの元子ども兵の社会復帰支援を実施。また、日本国内では、平和教育（学校や企業向けの研修）や、岩手県大槌町で大槌刺し子を運営。主な受賞歴：「地球倫理推進賞」（社団法人倫理研究所）、「地球市民賞」（独立行政法人国際交流基金）、「エクセレントNPO」組織力賞ノミネート（エクセレントNPOを目指そう市民会議）、「社会貢献者表彰」（公益財団法人社会貢献支援財団）、「日経ソーシャルイニシアチブ」国際部門賞ファイナリスト（日本経済新聞社）、「企業価値認定」（一般社団法人企業価値協会）、第4回ジャパンSDGsアワード副本部長（外務大臣）賞、第52回毎日社会福祉顕彰、第1回SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞「平和の部」など。国連経済社会理事会特殊協議資格NGO。

名称：特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス

所在地：京都府京都市下京区五条高倉角塚町21番地jimukinoueda bldg. 403号室

URL：<https://www.terra-r.jp>

理事長：小川 真吾

設立：2001年10月31日（2014年5月30日より認定NPO法人）

事業内容：『地雷』『小型武器』『子ども兵』の課題に対するアジア・アフリカでの支援活動、および国内での『平和教育』を中心とした啓発活動 など

○ タイ国際ボランティア財団について



1997年に認定NPO法人IV-JAPAN代表 富永幸子と現理事長ラダ・プロムヨティ氏によって設立。貧困層の若者の教育促進、農村部やスラム街の開発促進、文化交流、農村部の生活の質と環境の改善などの活動を行っている。

名称：Foundation of International Volunteers in Thailand

所在地：No. 34/5, Soi Lerdpanya (Ratchawithi 9), Rangnam Road, Ratchathewi District, Bangkok

理事長：ラダ・プロムヨティ

○認定NPO法人IV-JAPANについて



『その手に技術を、アジアに自立を。』 貧困に暮らす女性も、手に職を付けることで、貧困から抜け出すことができます。小さなお店であっても一生懸命働けば、生活の糧を得ることができ、貧困から抜け出すことができます。認定特定非営利活動法人 国際協力NGO・IV-JAPANは、アジア地域において教育の機会を受けられなかった女性及び青年の生活向上のため、職業訓練を実施し、自立への機会を提供しています。

名称：認定／埼玉県指定 特定非営利活動法人 国際協力NGO IV-JAPAN (アイブイジャパン)

所在地：埼玉県さいたま市大宮区三橋2-545-2 シティヒルズ101

URL：<https://iv-japan.org/>

代表者：富永幸子

設立年月日：国際ボランティアの会：1988年5月1日

事業内容：開発援助国際文化交流、国際理解・開発教育